

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	24-022	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Predictors of alcohol and other drug treatment completion among young people accessing residential and community-based treatment: A retrospective analysis of routinely collected service data 居住型および地域型治療を受けている若者のアルコールおよびその他の薬物治療完了の予測因子：定期的に収集されたサービスデータの遡及的分析		
執筆者		
Wells M, Kelly PJ, Mullaney L, Lee ML, Stirling R, Etter S, Larance B.		
掲載誌		
Addiction. 2024 Oct;119(10):1813-1825. doi: 10.1111/add.16602.		
キーワード	PMID	
青年期、若年成人、物質使用障害、物質使用治療、治療完了	38946548	
要 旨		
<p>背景：アルコールに関する薬物治療（AOD）中の若者では、治療から離脱する割合が高い。本研究では、若者 AOD 患者における患者の特性、治療の特性、臨床的重症度および治療完了との関連について検討した。</p> <p>方法：オーストラリアのニューサウスウェールズ州の居住型および地域型の AOD サービスより定期的に収集されたデータのうち、2012 年から 2023 年の間に治療を受けた 10-24 歳を本研究の対象とした (n=17,474)。患者特性、サービス特性、臨床的重症度（Kessler-10 [K10]、EUROHIS-QoL、依存度スケール [SDS]）と治療完了の関連について、多変量ロジスティック回帰モデルを用い評価した。</p> <p>結果：コミュニティベースの治療を受けている青年、成人、および施設治療を受けている青年において、多剤使用あるいは住民不安有は治療完了と負に関連した。コミュニティベースの治療および居住型治療を受けている成人において、若者に特化したサービスへの参加は治療完了率の高さと関連していた。</p> <p>結論：オーストラリアのニューサウスウェールズ州では、2012 年から 2023 年の間にアルコールやその他の薬物治療を受けた若者のうち、治療を完了したのは半数未満であり、多剤使用や住宅不安などの障壁に直面している若者の完了率はさらに低かった。</p>		